

販路開拓・海外展開をお考えの皆様へ

ストーリー性のある映像によるブランディングを後押しします

J-LOD 補助金

(コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業)

デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作等の支援

事業者自体または事業者の製品・サービスの認知向上や理解促進など（ブランディング）を目的として、デジタル配信を念頭においた共感を呼ぶストーリー性のある映像（ブランデッドコンテンツ）を制作する事業に対し、映像の制作・発信、効果検証等に必要経費を支援します。

補助額 上限 1000万円 補助率 1/2

対象経費 映像制作費（トレーラー制作費、ローカライズ費含む）、
動画広告配信の媒体費、効果検証費

申請主体 ①企業、事業者団体 ②コンソーシアムの代表者

対象コンテンツ ジャンル不問。デジタル配信に適した長さの映像



※ コーディネーター（①映像制作の前提となる企業の経営課題やステークホルダーの整理といったブランディング戦略立案を行える事業者や、②完成した映像を効果的に発信するためのメディアプラン立案などを行える事業者）と連携した事業を重点的に支援します。

※ 地域未来牽引企業（目標設定が条件）と地域経済牽引事業計画の承認事業者等に対し、加点措置を講じます。

※公募時期：令和2年3月31日～8月31日

（毎月最終営業日締切、締切から1か月以内に採否連絡）

特設サイトでマッチングも実施中！詳しくはこちらから▶



例えばこんな悩みはありませんか？

良質な製品やサービスを提供しているが販売に結び付かない

製品に込めた想いが取引先などに理解されない

同じ志を持つ人と働きたいがなかなか出会えない

解決する鍵はブランディング

ブランドを育てて長期的な企業成長を

企業のブランドが確立することで、**消費者や取引先、従業員、求職者、地域住民**といった企業を取り巻く人々からの信頼性や親近感が向上し、**彼らの意識の中で企業の優先度がアップ**。このことにより、訴求する用途によって様々な企業活動に寄与。



自社製品に対する購買意欲の高まり、口コミや推薦などによるイメージアップ

信頼性向上、リピート購入の改善、共同開発など事業アライアンスの増加



優秀な人材の確保、知名度向上による求人コストの削減

具体的にはどうすればいいのか？

ブランディングにおいては、**自社や製品の持つストーリーを伝えて共感してもらうことが重要**。ストーリーを最も効果的に伝えられるのは、経営者自身だが、関係者へ個別に語るとするのは現実的ではない。

そうした中で、**相手の心に強く印象付けやすいストーリー性のある映像コンテンツを活用する手法 (ブランデッドコンテンツ)**が注目されている。既存のCM映像や企業案内、IR資料等では伝えにくい企業や製品の本質的な魅力や理念を効果的に伝えることが可能となる。

補助金活用イメージ

事例1 (BtoC)

加工食品の製造販売を行うA社。新規顧客の開拓が課題。そこで、既存顧客のデータを整理し、ターゲットを分析。取扱製品を用いたレシピとストーリーを組み合わせた映像をシリーズ化し、メルマガやオンラインショップのリンクにより定期的に配信。

事例2 (BtoB)

リサイクル製品開発に取り組んでいるB社。主な取引先は家電量販店で新規取引先開拓が課題。また、アポイントの相手は日常的に忙しい職種であり書類に目を通す時間がない。商品の開発秘話を実写ドラマ化し、動画を見て共感してもらうことで、アポイント承諾を得たい。

事例3 (人材採用)

精密工作機械の部品製造を行う中堅メーカーC社。大都市から離れていること、知名度の低さから人材獲得が課題。技術者の思いといったエピソードを軸に、社員の一体感が分かる映像を制作し、動画広告とSNSによる情報発信を並行して行う。

お問合せ先

非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO) 補助金事務局
e-mail: question@j-lodr1.jp
電話 : 03-6264-1315 (10:00~17:00)